

宮川の現状と課題の補足説明

平成22年7月20日

現状と課題に対する補足説明

・宮川流域ルネッサンス事業では流量の確保が議論になっていたが、それに対してはどのように考えるのか。

①『宮川流域ルネッサンス事業』における流量回復方策について

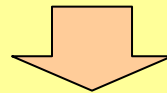
<基本理念>

- ①清流や森林、溪谷、干潟など豊かな自然の保全・再生
- ②豊かで清らかな川の流れを甦らせる健全な水循環の構築
- ③川とともに育まれてきた歴史・文化の継承・発展
- ④自然環境と調和した魅力ある流域づくり

日本一の清流・宮川の水質の保全、豊かな流量の回復に向けた取り組みを展開

<宮川流域ルネッサンス事業計画における流量の回復目標 >

宮川ダム直下地点：2.0m³/s、栗生頭首工直下地点：5.0m³/s



<当面の流量回復目標 >

宮川ダム直下地点：0.5m³/s、栗生頭首工直下地点：3.0m³/s

⇒ 平成18年4月より、宮川ダムから0.5m³/sの放流を実施

・河川整備基本方針において、動植物の生息や景観等を考慮した正常流量を設定していることから、正常流量の確保に向けて、水利用の調整や節水啓発活動の取り組み等を行っていく。

現状と課題に対する補足説明

- ・内水面漁業に関する資料を提示して欲しい。

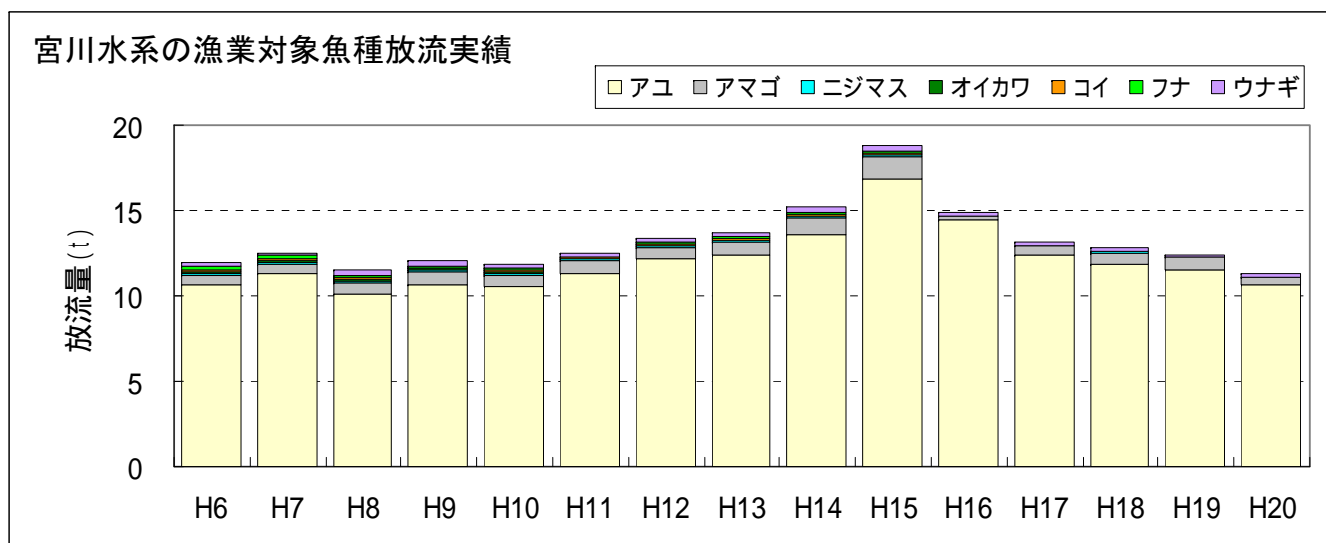
①宮川の漁業権の設定状況

宮川漁業協同組合、宮川上流漁業協同組合、大内山川漁業協同組合の3団体が存在

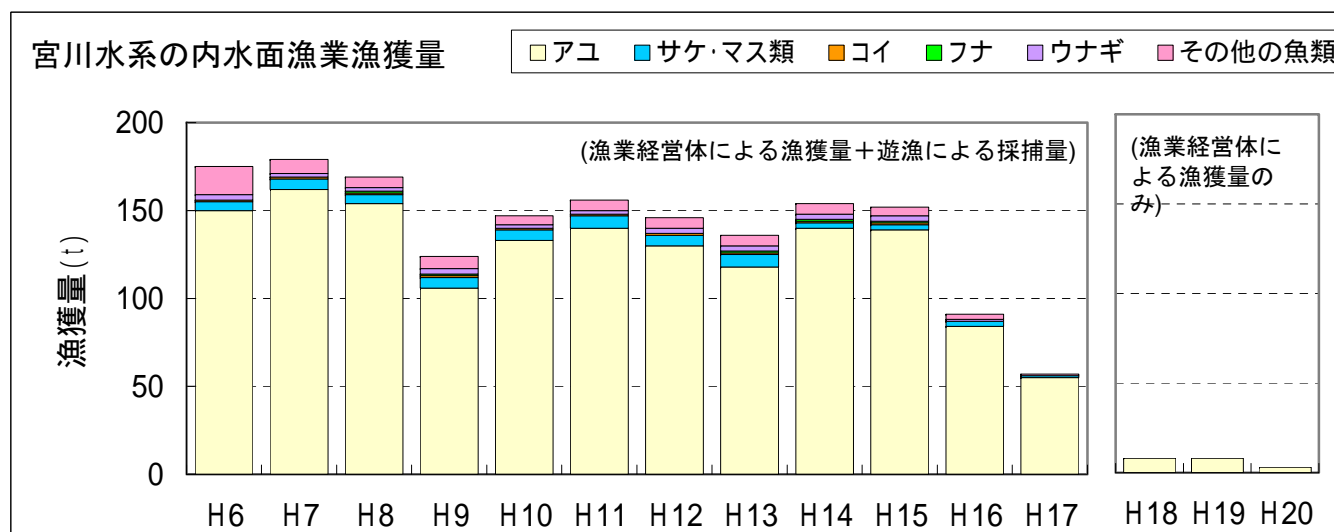


②宮川の漁業実績

平成6年以降について、放流実績と漁獲量について取りまとめた。



出典：三重県内水面漁協管理委員会調べによる



H17までは遊漁による採捕量(聞き取り:釣り人などから)も加味、H18年以降は漁業経営体による漁獲量のみを計上

出典：三重農林水産統計年報

現状と課題に対する補足説明

- ・ 勢田川浄化導水の導水条件や実績などについて教えて欲しい。

①導水条件

浄化導水は宮川右岸7.4kより導水しており、導水条件は以下のとおり。

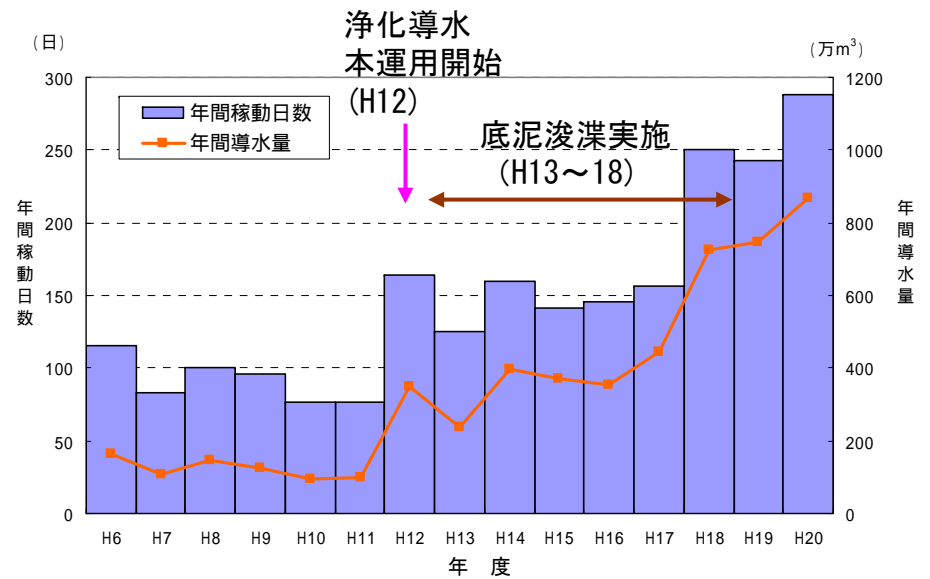
最大導水量	1m ³ /s
運用時間	8:00~18:00
運用条件	岩出地点流量 6~300m ³ /s



導水位置図

②導水実績

- ・ 平成5年より暫定運用、平成12年より本運用を開始している。
- ・ 平成17年までは、平日のみの運用であったことから、導水量が少なくなっている。

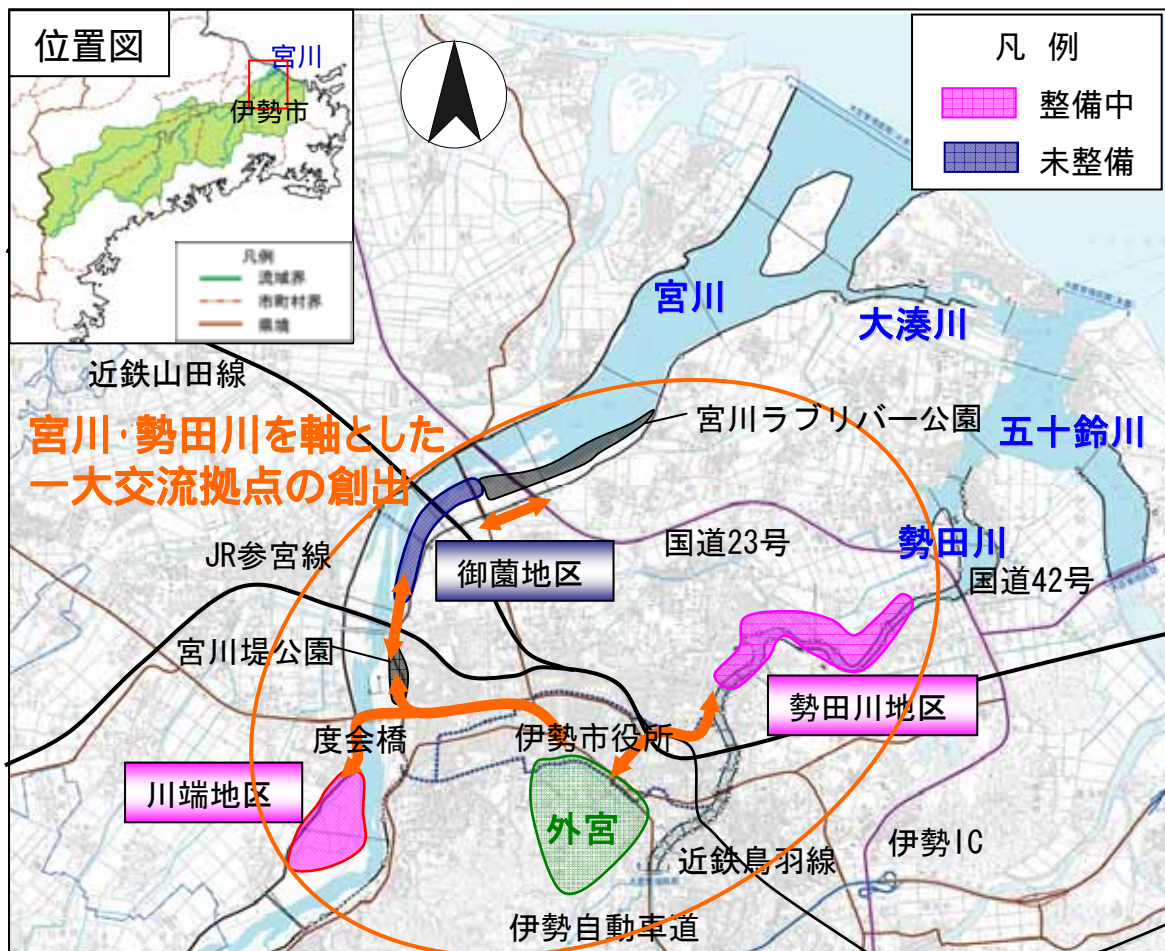


勢田川浄化導水運用実績

現状と課題に対する補足説明

・伊勢かわまちづくりについて、第5回流域委員会で説明した内容から見直しを行っている。

・平成22年4月に、かわまちづくり支援制度の要綱が変更となったことから、整備箇所の見直しを行った。
 ・新要綱では、河川管理者としての整備内容は治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を対象とするものとしている。



整備箇所		
地区	整備内容	見直し後
宮川地区	散策路整備 親水護岸整備 等	×
川端地区	低水護岸整備 高水敷整正 緩傾斜堤防整備	
勢田川地区	護岸整備	
御園地区	樹木伐開	